

平成 22 年 3 月期 第 2 四半期連結決算概要

平成 21 年 10 月 28 日

東京瓦斯株式会社

1. 連結決算実績 (21 年 4 月～9 月)

(1) 全体概要 (単位: 百万 m<sup>3</sup>、億円、円)

	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)	(参考)個別決算
ガス販売量	6,166	6,730	△564	△8.4	5,938
売上高	6,320	7,400	△1,080	△14.6	5,409
営業利益	464	△95	559	—	362
経常利益	505	△114	619	—	389
四半期純利益	327	△16	343	—	253
1株当たり四半期純利益	12.07	△0.63	12.70	—	9.35
1株当たり純資産	296.69	284.72	11.97	4.2	251.83

(注1) 1株当たり純資産は21年3月期末との比較

(注2) 連結会社数: 連結子会社61社・持分法適用関連会社4社

- 売上高は、原料費調整制度に基づく料金単価調整及びガス販売量の8.4%減等により、ガス売上高が15.7%減の4,665億円となったこと等から14.6%減の6,320億円となりました。
- 営業費用は、ガス原材料費が減少したこと等により21.9%減の5,856億円となりました。この結果、営業利益は559億円改善の464億円となり、これに為替レート差損益53億円他を加え、経常利益は619億円改善の505億円となりました。
- 四半期純利益は、経常利益の改善に対し、前年同期にリース会計基準影響額他94億円の特別利益の計上があったため、343億円改善の327億円となりました。
- なお、中間配当金につきましては、1株当たり4円といたします(年間予定8円)。また、1,500万株・50億円を上限とする自己株式の取得期間を22年3月31日まで延長することを決議いたしました。

(2) ガス販売量

		当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)		
お客さま件数		千件	10,563	10,423	140	1.3	
ガス販売量	家庭用	百万m <sup>3</sup>	1,300	1,341	△41	△3.0	
	業務用	商用	百万m <sup>3</sup>	990	1,049	△59	△5.7
		その他用	百万m <sup>3</sup>	481	465	16	3.5
	工業用	百万m <sup>3</sup>	2,554	2,995	△441	△14.7	
	計	百万m <sup>3</sup>	4,025	4,509	△484	△10.7	
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	841	880	△39	△4.4	
合計		百万m <sup>3</sup>	6,166	6,730	△564	△8.4	
平均気温		℃	22.4	22.1	0.3	—	

(注1) 販売量は45MJ/m<sup>3</sup>表記としております。(注2) その他用: 公用・医療用

- 家庭用需要は、前年同期に比べて気温が高く推移した影響で給湯需要が減少したこと等により3.0%減少いたしました。
- 商業用需要は、長引く景気低迷による需要減に加え、春先は主たる需要の給湯が高気温の影響により減少し、夏季の主たる需要である空調が低気温の影響で減少したこと等により5.7%減少し、その他用需要は、新規お客さまの設備稼働等により3.5%増加いたしました。
- 工業用需要は、既存設備の稼働減等により14.7%減少いたしました。
- 他事業者向供給は、供給先事業者の需要の減少等により4.4%減少いたしました。

(3) 収支概要 (単位: 億円)

収 益		増 減	増減率(%)	費 用		増 減	増減率(%)	
ガ ス	4,665	△872	△15.7	ガ ス	原材料費	2,073	△1,522	△42.3
	その他				1,930	106	5.8	
				計	4,003	△1,416	△26.1	
ガス以外	2,320	△324	△12.3	ガス以外	2,211	△329	△12.9	
				全社費用	317	△10	△3.1	
				事業間内部消去	△676	115	—	
売上高	6,320	△1,080	△14.6	営業費用	5,856	△1,640	△21.9	
				営業利益	464	559	—	
				営業外費用	80	△29	△26.2	
				経常利益	505	619	—	
				特別損失	—	—	—	
				四半期純利益	327	343	—	

(注1) ガス以外の内訳は「(4) 部門別の概況」参照。

(注2) 全社費用とは各事業に配賦不能の営業費用です。

(4) 部門別の概況 (単位: 億円)

	売 上 高		増 減	増減率(%)	営 業 利 益		増 減	増減率(%)
	当四半期	前年同期			当四半期	前年同期		
ガ ス	4,665	5,537	△872	△15.7	661	118	543	460.4
ガス器具	546	573	△27	△4.7	11	18	△7	△37.2
受注工事	187	207	△20	△9.7	△7	△9	2	—
不動産賃貸	169	178	△9	△5.1	42	48	△6	△13.4
その他	1,417	1,684	△267	△15.9	62	46	16	36.1
ガス以外	2,320	2,644	△324	△12.3	109	104	5	4.7

(注) 売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には配賦不能営業費用を含んでおりません。

(5) 主要計数

	当四半期	前年同期	増 減	増減率(%)
原油価格 (\$/bbl)	61.81	119.71	△57.90	△48.4
為替レート (円/\$)	95.53	106.12	△10.59	△10.0
設備投資 (億円)	579	627	△48	△7.6
有利子負債 (億円)	5,622	5,932	△310	△5.2
支払利息等 (億円)	54	55	△1	△0.2
その他有価証券評価益 (億円)	278	183	95	52.0
営業キャッシュ・フロー (億円)	1,029	651	378	58.0
R O A (%)	1.9	△0.1	2.0ポイント	—
R O E (%)	4.2	△0.2	4.4ポイント	—

(注1) 営業キャッシュ・フロー=当期純利益+減価償却費等

(注2) 有利子負債及びその他有価証券評価益は21年3月期末との比較

2. 通期 (22 年 3 月期) の業績予想

前回の業績予想に対して、前提となる経済フレームについては変更しておりません(原油価格については10月以降平均70\$/bbl、為替レートについては10月以降95円/\$)。なお、通期の原油価格見通しは65.91\$/bbl、通期の為替レート見通しは95.27円/\$となります。その結果、連結の業績予想については、当社及び連結子会社の業績予想の修正により、売上高は70億円減の1兆4,070億円となるものの、経常利益は80億円増の720億円、当期純利益は60億円増の480億円と、前回業績予想を上回る見通しです。

当社の個別業績予想については、前回の業績予想に対して、ガス販売量は、工業用需要の回復等により全体としては前回見通しを上回りますが(+0.8%)、家庭用及び業務用の販売量が前回見通しを下回ります。これにより、ガス売上高が減少すること等から、売上高は100億円減の1兆2,020億円となるものの、諸経費の減少を見込むこと等により、営業利益は変更しておりません。また、営業外収益として受取配当金等を見込んだ結果、経常利益は40億円増の540億円、当期純利益は30億円増の360億円と、それぞれ前回業績予想を上回る見通しです。

(単位: 百万m<sup>3</sup>、億円)

	連結決算				(参考)個別決算			
	通期業績 予想	対前期 増減	増減率 (%)	対前回 増減	通期業績 予想	対前期 増減	増減率 (%)	対前回 増減
ガス販売量	13,498	△444	△3.2	109	12,967	△622	△4.6	103
売上高	14,070	△2,531	△15.2	△70	12,020	△2,461	△17.0	△100
ガ ス	10,388	△2,187	△17.4	△23	10,050	△2,207	△18.0	△30
ガス以外	3,682	△343	△8.5	△47	1,970	△254	△11.4	△70
営業利益	720	68	10.4	0	520	95	22.2	0
経常利益	720	137	23.4	80	540	142	35.5	40
当期純利益	480	63	15.1	60	360	110	43.5	30

(注) 事業間の内部取引高はガス以外の欄で調整しています。

<前提となる経済フレーム>

	今回通期見通し	対前期増減	増減率(%)	対前回増減	増減率(%)
原油価格 (\$/bbl)	65.91	△24.61	△27.2	0.28	0.4
為替レート (円/\$)	95.27	△5.44	△5.4	△0.32	△0.3

(注1) 原油価格: 前期実績90.52\$/bbl、前回見通し65.63\$/bbl

(注2) 為替レート: 前期実績100.71円/\$、前回見通し95.59円/\$